

2009年度短期宣教司牧計画の評価

文責 北部ブロック事務局 川神

2009年度奈良北部ブロック短期計画の評価
計画1 年3回 司教年頭書簡「召命」の勉強、分ち合いをする
* 4月から9月まで毎月1回ミサ後分ち合いを、実施。参加者は減少し固定化した（郡山） * 年4回分ち合いを、ミサ後実施。呼びかけするが、実施の度に参加者は減少していった（登美が丘） * やっと1回分ち合いを、実施（富雄）、本当の分ち合いをする環境づくりができず、実施できなかった（奈良） * 教区は、言葉づかいを厳格に指導しておられるが、司教様は、「分ち合い」について曖昧です。名称を変えたら・・（事務局）
計画2 次世代の継続的な信仰養成プロジェクトを発足させ、プログラム構想案、スケジュール案を3月までに奈良北部ブロック会議に提言する
<u>提言 公教要理指導の為、『信徒による信仰養成奉仕者を養成をする為のプログラムをつくる』</u> * 過去五回協議され、提言があったので一定の評価は、できる（郡山、富雄、登美が丘、奈良） * ミサ後に逐次報告し、教会誌「丘の星」に掲載してPRに努めた結果、信徒の皆さんに浸透しつつある（登美が丘）
計画 3 青少年・リーダー・保護者の召命のため、「北部ブロック青少年交流会」、「教会学校合同サマーキャンプ」への積極的な参加を呼びかけ

* 参加人数が少ないなど課題があり、各教会の協力が求められる（郡山）

* 「北部ブロック青少年交流会」

- ・ サレジオ会の司祭・志願生との信仰体験を共有し、最近では、サレジオ会の皆さんと保護者の交流会ももたれ、奈良南部からも参加されている（富雄、登美が丘）
- ・ 関心が薄く、参加者もなかったなので、リーダーに理解を深めてもらう為に、評議会が働きかける必要がある（奈良）

* 「教会学校合同サマーキャンプ」・・・キャンプのテーマに召命もはいつている

計画 4 主日のミサで、「司祭・奉献生活者の召し出しを求める」共同祈願を行う

* 4教会が主日のミサで「召し出しを求める」共同祈願が行なわれ評価できる

* 奈良は、毎月第一週の主日のミサで、郡山、富雄、登美が丘、は毎週の主日のミサで行っている

計画 5 教区、宣教会や修道会の志願生などへの支援・献金を呼びかける

* 一粒会を通して支援・献金を行うと決めたが、呼びかけが不十分だった（郡山、富雄）

* 教区、宣教会や修道会へ約110万円の献金、信徒宣教者からカンボジアに派遣されている林愛子さんを支援している（登美が丘）

* 計画にあるような支援・献金は、していない（奈良）

計画 6 活動部会、種々の教会活動、ボランティア活動などに参加して 自分の召命を見つけ、それに応える

- * 4教会が、特養サンタ・マリアへの奉仕活動、奈良ダルクへの支援を継続
- * 抽象的で、具体性に欠けた為、評価は、困難（郡山）
- * 「ひよこルーム」は、就園前の子供と母親を対象に、母親の子育て支援する活動を実施（富雄）
- * ダウン症などの身障者NPO法人への支援活動（登美が丘）
- * 参加者が固定化しているので、地区協議会主催の行事や、バザー・納涼大会で、新しい人の参加を積極的によびかける（奈良）

計画 7 教会からはなれている人達に、どのような「働きかけ」と「祈り」をされていますか

- * 具体性に欠け、評議会で議論するも結論がでず、実施できなかった（郡山）
- * 現状把握が困難で、実施出来なかった（富雄）
- * ご無沙汰信徒に、黙想会「四旬節、待降節」の案内と、復活祭・クリスマスのミサ参加への呼びかけのお便りを持参、郵送している（登美が丘）
- * 2009年、クリスマスミサ参加を呼びかけるクリスマスカードを全世帯に郵送した（奈良）